

夏だ！海だ！ウィンドサーフィンだ～♪♪ 6月23日（金）海開き



海水浴場期間の過ごし方 p2

◎海水浴エリア情報

データで上達を狙う p3

◎GPSはどこまで活用できるか

◎本栖湖合宿の感想文 p4～p5

～怪しいウィンドサーファー～

～本栖湖合宿感想文～

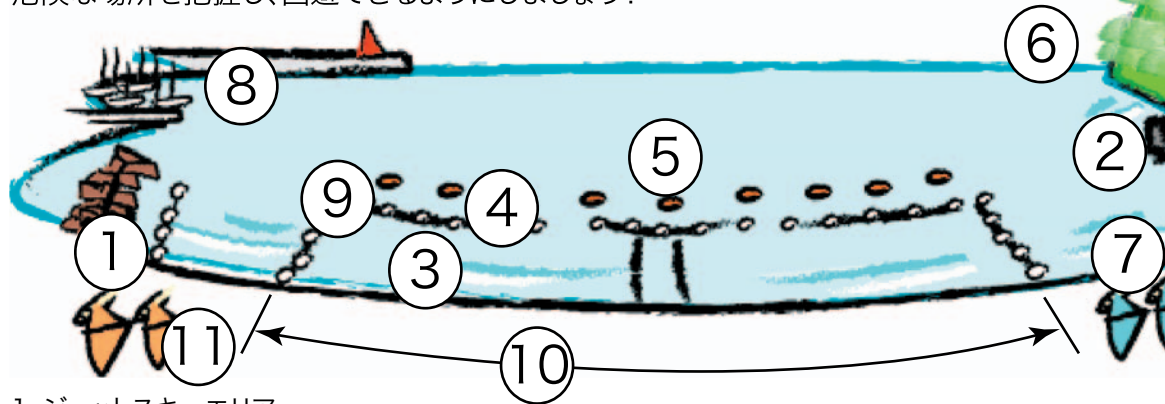
メンバークラススケジュール p6

海水浴エリア情報

この夏を楽しく過ごすために知っておこう！

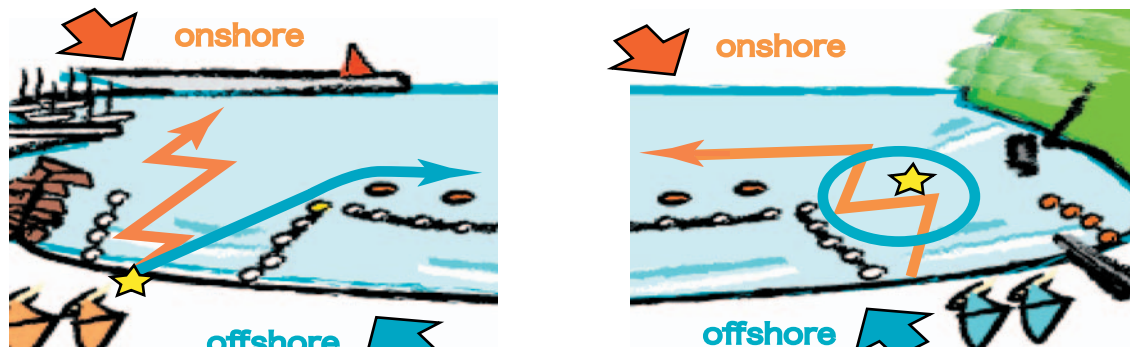
□危険防止

知らなくて怪我をしてせっかくの夏を棒に降ってしまうのは非常にもったいないので危険な場所を把握し、回避できるようにしましょう！



- 1, ジェットスキーエリア
ジェット専用のエリアの為、ウインドも入ってはいけない場所です。
- 2, 浪子不動
波も立ちやすく、潮が引くと海底の石にフィンがヒットします。
- 3, 海水浴エリア
9時～5時までは遊泳者専用エリアです。時間内はウインド、サーフィンも進入できません。
- 4, 進入禁止エリア
オレンジと白の間の間は進入禁止です。オレンジでジャイブ等しないようにしてください。
- 5, 海水浴エリア中央
両端よりもロープが岸よりに凹んでいるので、ここにはまると脱出が難しくなります。
- 6, 大崎(ホモドック前)
逗子湾で一番大きな波が立つ為レスキューが不可能になるポイントです。
- 7, 西浜の浅瀬
砂ではなく石畳になっているので帰着のときはゆっくりおろしましょう。ウニ等もいます。
- 8, 葉山マリナー
漁船の出入り口です。午後になると朝魚に出ている漁船が多く通行します。
- 9, 海水浴ロープ
ロープにはフジツボ等の貝が、沢山つくので触ると怪我をします。近寄っても触らないようにしましょう。
- 10, 海岸
海水浴エリア内の砂浜は道具を運ばせん。ブーム1本でも浜は通行しないでください。
- 11, 道具の置き方
多くの人利用、通行します。道具は整理整頓して置くように心がけましょう！

□出艇方法



GPS はどこまで活用できるか

最近、ウインドサーフィンの世界でもハンディGPSが密かにブームになりつつある。スピードの計測や走行距離数など、様々なデータを残すことができ、それらを解析することが面白かったり、自分の欠点を知ることになったりと、上達の要素も多く持っている。現在、よく使用されているハンディGPSは2ブランド。JP AUSTRALIA のロゴ入りで知られるようになった「NAVMAN」と、PCにデータを取り込むことのできる「GARMIN」だ。フリーソフトを利用して航跡や残すなどのデータ解析するためには「GARMIN」でなければダメだから、徐々に「GARMIN」が増えてきている。ここでは、「GARMIN」のハンディGPSを取り上げて、どんなことができるのかを説明していこう。

「GARMIN」の「ForeAthlete201」を使用した例を挙げてみよう。右上の写真は数分間走った直後に撮影したもの(ちなみに本栖湖での江指君のデータ)。表示画面は色々あるのだが、この画面に表示されている内容は次の通りだ。

イエローの□は最高速度を表している。走行中に最高速を更新すれば表示され、速度更新がなければ表示に変化はない。スピードの記録に挑戦している人は、ここが最大のポイント。目指せ、自己最高記録！！ってところでしょうか。

グリーンはオドメーター。計測を開始した時点から現在に至るまでの総走行距離。例えば、セイリングを開始した時点から上がってくるまで電源を切らなければ、その日に何キロ走ったのかが判る。途中でデータをクリアしたりもできるが、



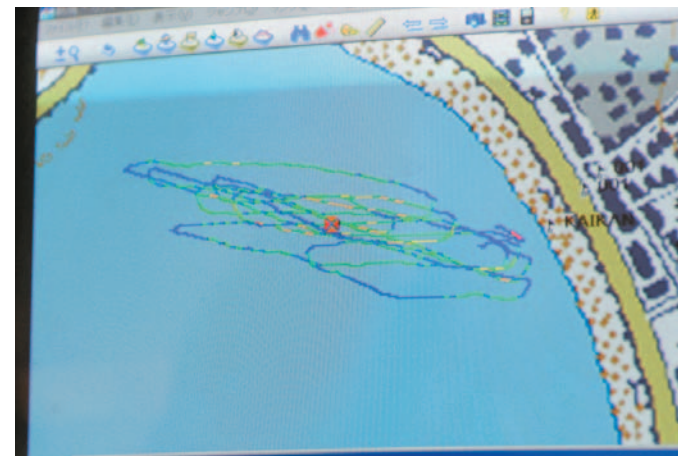
総走行距離を知るのも面白いので、夕方までのデータをとってみるといい。

オレンジの□は平均時速。ビーチを歩いている時も計測されるし、座っている時間も計測されるから、アベレージになるとかなり低い数値になることが多い。走行距離にしても、平均時速にしても、キチンと計りたかったら、こまめに電源を切るか、リセットし直す必要がある。

ブルーの□は計測した総時間。どれくらいの時間セイリングしたのかを知りたいければこれもチェック。

航跡とスピードデータの結果が面白い

カシミールというフリーソフトを使ってPCにデータを取り込むと、かなりのデータ解析ができるようだが、まず単純に面白いのは「スピードのデータ」と「航跡図」。取り込まれたデータをイラスト化すると下の写真のように航跡が線として表示される。それも、地図上で。逗子湾内でどうやって走ったのかが判り、風に関することを覚えていれば、かなり自分の走りを見返ることができる。



航跡のライン上をアイコンを走らせることができ、データの表組み上のスピード数値と照らし合わせていくと色々なことが判る。例えば、ジャイブの入り口は何キロ出たのか、ターンのピークのスピードは？出口ではどこまでスピードが落ちた？などなど。また、スピードを色分けして表示するために判りやすい。更に！他の人の航跡と重ねて表示することもできるから、一緒に走っていた人との比較もできる。また、上り角度の比較もできるため、同じような道具で技術レベルなどが異なる場合には、かなり役に立つこと間違いなし。

まだまだ多くのデータ解析ができるだろうが、単純なところはこのあたり。この単純さが面白く、しかも役に立つのだから、試しにでも使ってみない手はないだろう。

航跡は逗子湾を問わずどのエリアでも地図上に表示できる。特に、少し遠乗りしたときなどは、走り方の効率が良かったのか、悪かったのかを判断できるので凄くためになる。単にスピードだけでないGPSの遊び方。これからもっともっと色々な遊び方が出てくるに違いない。

GARMIN の GPS に興味がある方はこちらへアクセス
< <http://www.iijo.net/> > < <http://www.garmin.com/> >

GPS に詳しい(オタク?) のナビさんブログが面白い
< <http://plaza.rakuten.co.jp/kurinabe/> >

6月10(土)～12日(月) 毎年恒例となった本栖湖合宿が行われました。
 ウインドサーファーにとって本栖湖といえば、夏のサマー風があまりに有名です。
 今年の参加人数はスタッフ含めおよそ40名という大所帯。昼も夜も大騒ぎの合宿となりました。
 みんなの目的はただ1つ、平水面での高速プレーニング!!
 これまた恒例となった感想文を3名の方に書いていただきました。
 まだ行ったことない方は夏の間にぜひ訪れてみてください。

～怪しいウインドサーファー 本栖湖へ～ 叶昌平



典型的な勤勉日本人である「へなちょシステムエンジニア」にとって、生まれてこの方逗子以外のグレンデは知らず、純血の逗子ウインドサーファーであったことはごく自然のことである。ヤケ半分で純血を頑なに守ろうとすらしていたのだった。
 本栖湖合宿に参加したのは、N先生の「そろそろ他のグレンデに行かないとね」との一言で気弱な僕は「何がそろそろなのだろう」と思いつつ即座に受付へ、何かそこで突然強気になり月曜日迄の2泊3日を選択したのだった。

そして当日、ドレインを緩め忘れたり、ボードの到着が遅れたり、風待ちなどして、内心は純血を守るべきだったかと思ひながら、そそくさと出艇。フラットな水面で、風もアンダー～ジャストで、新緑の山々の中でプレーニングを開始すると、「ウインドってマリンスポーツじゃないな」とか考えながら、逗子との違いに混乱し始めたのだった。そんな混乱の中、引き込まれるように風下へ。回りに人がまばらになり、不安になってきてタックをした瞬間、富士山が視界に入ってきた。「何故お前がそこにいるのだ」とか思ったが、それはこっちかとも思い、生粋の日本人としては手を合せざるをえない。なんとか岸までたどり着き、混乱かつウインド満喫の1日目終了。

2日目は風がないため、出艇せず。内心「明日は吹くのさ」と思ひながら、2泊3日組の余裕を見せ、皆を見送る。

3日目は申し込み時の強気が功を奏し、午前からプレーニングができるコンディション。余裕ができたのでGPSで最高速測定。なんなく40km/hはクリアするが、それ以上は伸びず。ある程度満足するも、まだまだ行けそうな感じがであった。そんな楽しい平日をエンジョイしていた崇りか、いつしか霧が出てきて、目の前が真っ白に。山でウインドしていて遭難したら恥かしいと思いつつ、岸になんとかたどり着いた。

まさに目から鱗の体験であり、井の中のウインドサーファーであったことを実感した。本栖湖はフラットな水面が最高で、タックやジャイブがうまくなったと誤解してしまった。本栖湖もなかなかやるなという感じである。次回も是非参加し、密かに「ドラゴン」目指して頑張りたい。



今回感想文を書いて頂いた叶さんのライディング

～本栖湖感想文～ 上野美佐子

今回の本栖湖ほど、思い入れタツプリの合宿は初めてだった。だって去年は仕事が立て込んで実施日前日に涙のキャンセル。さらに半年前、真冬のウェイブの海ですっ飛ばされて左肩を骨折。だから、私には「リベンジ」と「復帰」という二つの意味をこめた、大事な大事な一泊二日のイベントだったのです。

1日目。昼過ぎにファンビーチへ降り立つと、湖面は風速3～4。《相変わらずu-Cビミョウu-Dね、本栖の風って》とひとりごちつつ、とりあえず手持ち最大セイルで出陣。すると、神の恵みか、あっという間にプレーニングが始まった。最初はアンダーで、そのうちジャスト。超気持ちいい。肩の痛みもないので、思わず「ウォータースタート」、やっちゃいました。

そして夜。恒例の屋外バーベキュー後、タコ部屋で宴会タイム。いつもの顔も、初めての顔も、みんな車座になって語る語る語る……。ウインドサーファーという共通項があれば、年齢・肩書・性別は一切関係なく、話が深夜まで尽きないのが本当に不思議。

そして2日目。外は雨。かなりビショビショで、宿の入り口に干したウェットスーツが濡れそぼっている。ひたすら悲しい。宿の食堂から湖を眺めていた霜さんが「この調子じゃ、ちょっとねえ〜」とつぶやく。思い起こせば本栖で丸二日間、走れたことがない。うーん、残念。仕方ないのでタコ部屋にてビデオ鑑賞会。といっても前日のセーリングのチェックなので、とても参考にはなるのだが。

と、その時。2日目から合流組の男性メンバーから携帯電話が入った。「いい感じに吹いてきました!」。一瞬で全員が宿から飛び出し、転がるようにビーチへ。しかし、湖面ツルツル。よく見るとあらぬ方向から「そよ風」が。その後、この男性メンバーに一同懺悔を求めたとしても非難はされないでしょう。ってことで本当に楽しい合宿でした!



風が無かった2日目はビデオ学習となりました

～本栖湖合宿感想文～ 篠原誠一

ウインドに魅せられてちょうど1年。美味しいキャッチコピーに釣られて無謀にも参加してしまった2月のサイパンに続き、「本栖に行くとうまくなるよ!」「本栖に行けばプレーニングはバッチリだよ!」との言葉に再び釣られまとも無謀にも本栖合宿に初参加。淡水でのウインド、道具を運び込んで逗子以外のグレンデでのウインドと、何もかもが初体験。

そのうえ本栖との戦いは思わぬところから弾丸が飛んできた。申し込み直後から、「本栖は富士五湖の中で一番水深が深くて130mぐらいあるらしいよ!」「ほんとに淡水は体が浮かないよ!」「落ちると下のほうから足を引っ張られるんだよねえ〜!」K一、Y美ちゃん、本当にやさしい先制攻撃をありがとう。と、顔では笑って見たものの、その足でCBに直行。オyajの本領を捨て去り、「格好よりも何よりも一番浮くライジャケください!」

いよいよ出発当日を迎え、まるで遠足当日の小学生。5時起きだというのに目覚めはバッチリ。時間通り7時に会館に集合し道具を積み込みいざ本栖へ。緊張していたわりには当日のスケジュールも、宿泊先も、道順も何も把握してなかった。そのうえ頼みのカーナビはぶっ壊れて使え物にならず。みんなの力を借りて何とか集合場所へたどり着きました。
 さあーいよいよ本栖初体験!と思いきや肝心の風がなく、「とりあえず食事して風が吹くまで待機な。」と霜先生の言葉。あれ、ちょっと拍子抜け。そうこうしているうちに準備を進めると除々にブローの気配。上級チームは何のためらいもなく湖面へと飛び出していきます。落ちこぼれチーム(?)も気合を入れていざ湖面へ!

初めて足を踏み入れた本栖湖の水はたしかに冷たく、心なしか逗子に比べると硬い感じがした。これが海水との違いなのか?などと思いつつ様子を見ながら走ってみる。風はサイパンと良く似た右からのサイドショア(サイパンの経験が活きました)。水の流れは多少強い感じはするものの水面は平ら。たしかにプレーニング&ジャイブにはもってこいのコンディション。

おっと、忘れちゃいけない。個人的には散々話題になったライジャケの効果も早く確かめなくては、と、わざと(?)落ちてみる。大丈夫、沈まない!これで安心してかっ飛ばす!

みんなそれぞれに思い思いのライディングを楽しみ、1時間毎に岸が上がって点呼確認。(さすが安全第一ZWS!)落ちこぼれチームの僕も自分なりに何とか、かっ飛んだ。途中、霜先生に、「湖でもブローって見えるんですか?」と上級チームながら本栖初参加のT一ちゃんの質問。「ほら、あの山際から見えて来てる白のがブローだよ。」と霜先生。「えっ、ブローって黒いんじゃないんですか?」(たしか逗子ではそう習いましたが)「湖では湖面に山の陰が映るため、ブローは海と逆で白く見えるんだよ。」(一同納得)そんな真面目なお勉強もしながらの初体験の1日目でした。

と思いきや、まだまだ夕方。夜は長い!今日はみんなでBBQ&飲み会。日頃なかなか逗子での飲み会に参加できない僕はこれも含めて本栖の楽しみ。いよいよここからがover40の腕の見せどころか?!日頃海の上では、忠実にN先生の教えを胸に必死に上っている分、ここからは一気に下って夜のプレーニングか?(って昼間からすっかり下ってましたが...)と、思いきや、早起きにロングドライブの疲れが重なり(けっして初本栖の緊張ではないと思いますが...)あっさりダウン。(これこそがover40か?)本当に平和な1日目でした。



40名にも及ぶ参加者でした!!

2日目、みんなの期待に天気の様子は微笑みかけてくれず、朝から雨、無風……。全員でひたすら風を待つこと半日。キャリアが浅い者にとってはなんとももどかしい時間が続く中、ベテラン勢はその時間さえも楽しんでしまっているように見えた。あらためて自然と風を相手にしているスポーツだということを充分に実感できるひとときでもあった。結局みんなの願いは叶わず、午後の早い時間に決断を下し帰路に着くことに。後ろ髪を引かれつつ、次回のチャレンジを心に誓い本栖湖を後にしました。

何もかもが初体験の本栖湖。ちょっと短かったけど、最高に充実した二日間でした。最後になりましたが、霜山先生、竜平先生、久美さんをはじめとするスタッフの方々、そして参加していたメンバーの皆様、二日間お世話になりました。ありがとうございました。また次回の本栖を目指しさらに練習に励みたいと思います。昼も夜も下りすぎてたら遠慮なく注意してください!?



セイルが小さかったけど頑張ってた篠原さん

メンバークラス・スケジュール

日程	対象	イベント	内容
08/11(金) ～ 8/15(火)	応用以上	本栖湖合宿 vol.2	恒例の本栖湖合宿第2弾
08/12(土)	ベーシッククラス	BBQ パーティ	スクール生同士の 親睦を深めましょう！
09/09(土)	全メンバー	Endless Summer Party	夏の大パーティ 賞品も沢山！！
09/16(土)	育成以上	江ノ島ロング	年に一度の本格的な ロングディスタンス
09/17(日)	ベーシッククラス	葉山森戸遠足	森戸海岸へ恒例のロング
10/07(土) ～ 10/08(日)	応用以上	メンバーズレース vol.3 (CB Cup)	2日間に渡るレース 実力試しに参加しよう
10/27(金) ～ 11/05(日)	全メンバー	マウイツアー	波を求めてマウイに行く エキスパート向きツアー
11/04(土)	ベーシックメンバー	葉山森戸遠足 & 鍋	森戸海岸へ恒例のロング
12/03(日)	全メンバー	メンバーズレース vol.4	2006年度の最終レース 総合成績が決まります
11/25(土) ～ 07/02/25	全メンバー	大崎クラシック (隔週の土日)	エキスパートが 実力を示すイベント

Information

●逗子情報

- 07/01(土) ビーチクラブ
(ボランティアしてくれる方随時募集)
- 07/21(金) 逗子花火大会 20:00より開始
- 08/01(火)～04(金)
子供市民スクール(定員10名/1日)
- 08/05(土) ビーチクラブ
(ボランティアしてくれる方随時募集)

●大会情報

- 08/27(日) 逗子海岸 スーパー8(開催予定)
- 09/03(日) 第一回全日本ジュニアウインドサーフィン選手権

●ツアー情報

- 06/30(金)～07/09(日)
マウイツアー 添乗；霜山・富永
- 08/03(木)～08/14(月)
モーリシャスツアー 添乗；岩崎
- 08/11(金)～08/15(火)
本栖湖合宿 添乗；未定
- 08/18(金)～08/27(日)
マウイツアー 添乗；小林 定員間近

- 09/15(金)～09/24(日)

マウイツアー 添乗；岩崎

※祝日が入る為に飛行機の混雑が予想されます。早めの申し込みをお願い致します。

●CB SURFERS

サマーセールのお知らせ

●ウェーブセイル・ファーストオーダーフェア
初回限定枚数を20%引き(一部メーカーは除く)
詳細はHPや店頭または各艇庫でご覧下さい。

●ニューボード・リリースフェア
限定本数15～20%引き(一部メーカー除く)
詳細はHPや店頭または各艇庫でご覧下さい。

●夏物セール

水着、ラッシュ、トランク、Tシャツ等 ALL20%OFF
(会員のアナタだけへのサービスです)

●梅雨の間ポイント2倍サービス
現金でお買い物の際はポイント2倍押します。
このチャンスをお見逃し無く

●夏だけ艇庫・出艇楽々フェア

ロープのある時期はビックフィンへ引っ越して、いつでも楽々出艇！

次号予告(逗子ウインドサーフスクール会報)

「マウイツアーレポート&マウイの紹介」

「冬に備えた練習メニュー」

「サイパンで上達するために！」

などなどを予定しています。(内容は予告無く変更される可能性があります)

2006 vol.3は10月1日頃に発行予定です。

Windsurf News

〒249-0007

神奈川県逗子市新宿1-3-5 逗子会館

株式会社 ウインドプランニング 046-873-3354

平成18年7月1日発行